

議 事 録

会 議 名	令和5年第4回一宮警察署協議会（定例会）
日 時 ・ 場 所	令和5年11月20日（月） 午後3時から午後4時50分までの間 ----- 一宮警察署 講堂
出 席 者	<p>1 委員</p> <p style="text-align: center;">星野 博 会長 中須賀 朱美 副会長 山田 邦彦 委員 鈴木 直之 委員 西尾 欣孝 委員 杉山 弘幸 委員 野原 恭子 委員 嵯峨 裕英 委員 鵜飼 保子 委員 衣 飛 委員 今西 智恵子 委員 榊原 丈晴 委員 西田 りか 委員 スカレット キアウ委員</p> <p style="text-align: right;">以上14名（定数15名）</p> <p>-----</p> <p>2 警察署員</p> <p style="text-align: center;">中神署長 粕谷副署長 宮田警務課長 長谷川会計課長 古川生活安全課長 吉本地域課長 松井刑事課長 松井交通課長 片桐警備課長</p> <p style="text-align: right;">以上9名</p> <p>-----</p> <p>3 有識者等</p> <p style="text-align: center;">なし</p>
諮 問 事 項 等	少年非行防止対策
答 申 等 の 概 要	<p>1 街頭補導活動の強化</p> <p>2 中学校、高校及び一宮市保護司会との連携の強化</p> <p>3 関係機関と連携した広報啓発活動の推進</p>
そ の 他	次回開催予定 令和6年2月頃

会議の経過及び発言の要旨	
1	会長挨拶
2	署長挨拶
3	各種報告
	(1) 管内の犯罪発生状況（生活安全課長説明）
	(2) 管内の交通事故発生状況（交通課長説明）
4	前回の答申に対する具体的施策の推進状況
	(1) 諮問事項
	災害（震災・風水害）発生時における警察活動について
	(2) 答申事項
	ア 救出救助を始めとした災害警備対処能力の向上
	イ 被害状況、避難経路、交通規制等に関する速やかな広報活動
	ウ 駅、高齢者施設等、混乱が予想される施設の把握及び施設管理者との連携強化
	(3) 推進施策（警備課長説明）
	ア 答申事項アについて
	○ 愛知県一宮警察署災害警備訓練
	○ 木曾川における水難救助訓練
	○ 西尾張エリアの警察署と合同の災害警備訓練
	イ 答申事項イについて
	○ 警察本部警備第二課等と広報活動に関する事項の再確認
	○ 市民に対する災害対策広報
	○ 事業者や外国人に向けた災害対策講話
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
ウ 答申事項ウについて	
○ 一宮市役所危機管理課との連携	
○ 尾張一宮駅及び名鉄一宮駅との連携	
○ 高齢者施設の把握	
5 諮問	
(1) 諮問事項	
少年非行防止対策	
(2) 諮問事項の設定理由（生活安全課長説明）	
ア 少年の非行件数は平成13年以降減少傾向であったが、令和4年から増加に転じている。	
イ 愛知県下では恐喝などの粗暴犯が増加し、一宮市内では初発型非行と呼ばれるオートバイ盗や万引きが増加している。	
ウ 全国で多くの少年が通称「闇バイト」に登録し強盗事件や特殊詐欺事件等に加担していることや、少年の心身に有害な影響を及ぼす性被害が多発しているなど、SNSの危険性を周知する対策が急務である。	
6 協議	
委員	・ 中学校では、「コドマモ」という性被害防止アプリの認知が広がってきているので、もっと広がるように警察官が学校に来て講話をしてもらえると嬉しい。
委員	・ 私の知っている盛り場と言われるような場所で起こっていた出来事が、今は携帯電話の中で起こっている。
また携帯電話の存在が当たり前の時代なので、学校で講話をして	
記録者	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
ほしい。	
委員	・ 市役所や学校などと連携して対応をすることが重要ではないか。
委員	・ 愛知県警が作成した、犯罪を起こすとどんな未来が待っているのかを伝える動画がとても良かったので、広報でもっと利用するとい
いと思う。	
委員	・ 子供だけではなく保護者にも警察官による講話をしてほしい。
委員	・ SNSの危険性が課題だと思うので、テレビやラジオなどのメディアで広報したりショッピングモール、学習塾などでチラシを配る
などすると効果的ではないか。	
委員	・ 幼少時からの教育が重要だと思うので、もっと広報をするとい
いと思う。	
委員	・ ネットリテラシーを高めることが一番大切だと思う。
委員	・ 保護司の高齢化が進んでいるが、それでもその役割は重要だと思
うので連携を図って少年非行に対応してほしい。	
委員	・ 親や警察以外にも気軽に相談できる場所があるといい。
委員	・ 電車の中やスーパーなどの商業施設でポスターを貼ると有効では
ないか。	
委員	・ 自分の気持ちを分かってくれる人がいたり、自分が必要とされ活
躍できる場所があると子供は非行に走らないと思う。	
委員	・ 補導活動はとても効果が大きいと思うので、是非続けていただき
たい。	
委員	・ 例えば高校での三者面談のときなど、何か行事があればそれをき
	記録者
	警務係長

会議の経過及び発言の要旨	
っかけにして講話をしたりチラシを配ることで保護者を巻き込むことができると思う。	
委員	・ チャットのような形だと気軽に相談できるのではないか。
委員	・ 携帯電話販売店と協力し、子供が携帯電話を購入するタイミングで注意喚起を行うと効果的だと思う。
委員	・ 様々な機関と連携を図って警察による講話を積極的に行ってほしい。
委員	・ 喫煙や飲酒などの非行防止のポスターを街中に貼ってみてはどうか
7 答申	
(1) 街頭補導活動の強化	
(2) 中学校、高校及び一宮市保護司会との連携の強化	
(3) 関係機関と連携した広報啓発活動の推進	
8 その他	
次回の開催予定は、令和6年2月頃とする。	
記録者	警務係長